

石津謙介よ、VANをありがとう！

中学3年の時、初めて着たボタンダウンのシャツ。ほんとカッコいいのだろう！  
多感な時に鮮烈な出会い。気持ちの高ぶりを忘れることは出来ません。

アメリカの香りと文化を服を着る、着ることを通じて教えてくれた。

「...ねばならぬ」と言われたようにルールがあった。けれどルールを堅苦しいなどと思わず、

心地よいものとして素直に受け入れ自分のものとした。この時の基本があるからこそ、そして今も尚、

着続けているからこそ着る事の楽しみを享受しているのだ。だからどんな場面においても

正々堂々と直居振舞う事が出来るのです。

50歳を過ぎて、50代でこんなに楽しいのだ。50代は“旬”だと感じる方にTより  
選履を目前にしながらかけることを思いやり楽しんでる。

私がおもった言葉「楽装喜服」服を着る、着る事は自分を表現する芸術だ。

装いは楽しみ、自分の目で選んだものが楽しませてくれる。だから大切にしたい。彼らと喜んでいるに違いない。

元日の団塊世代の特集はVANを取り上げ、石津さんが登場しました。毎年、お気に入りのデパートで  
集りパーティーを行います。こうした集りに雑誌の取材が入り両開きの誌面に登場するサテライトも  
ありました。VAN世代が注目され、石津さんに感謝の思いで一杯です。

VANは倒産しましたが、カッコ良い、日本の服装文化を確立しました。アビー・トラッドは日本の  
スタンダードです。石津さんの思いがけず僕らは私達世代がちゃんと教えを授け、装いは楽しみだということ  
継承しているのです。そしてこの楽しみは次の世代へも紡いでいきます。

今年、私達は「東京アビーサミット21」と題し11月20日に  
日本各地から東京へ大集合します。その時は是非天国から  
私達のところへ降りてきてください  
そして「みゆき通り」を一緒に歩きましょう。

**WAN**  
・ J A C ・

**for the young and  
the young-at-heart**



Blaze Button down Boy Always TRAD

Traditionalist 小川千雄